



みずどう

確かな学力、豊かな心、健やかな身体のバランスのとれた子どもの育成をめざす

令和4年2月号
尼崎市立水堂小学校
尼崎市立水堂町1丁目32-8
TEL(06)6437-3804
<http://www.ama-net.ed.jp/school/E30/index.htm>

最高の贈り物と揺るがない自分 小嶋 千花

懸念していた状況になってしまいました。1月27日から兵庫県にもまん延防止等重点措置が適用されました。この爆発的な感染者の増加を見ると致し方ないと思う一方で、教育活動にさらに制限をかけられるようになるのかと思うと、やるせない気持ちになります。1月17日に予定しておりました参観も直前での中止とさせていただきます。今後も予定しております行事等を延期、中止とさせていただくかもしれません。今、できる限りのことを行ってまいります。ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

気分が沈みがちな毎日ですが、私の気分転換は読書。どこかに出かける時、特に電車などに乗って出かける時には、「活字」を持っていないと不安になります。家には「積ん読」がたくさん。今、買っておかないと、もう二度と出会えないかも!と思ってすぐを買ってしまいます。この間もステキな本が紹介されていたので、思わず買ってしまいました。「12の贈り物」シャーリーン・コスタンゾさんが、ご自身の子どものために書かれた絵本です。誰もがこの世に生まれた時にもらっている12の贈り物。その贈り物について書かれています。

1番目は「力」、2番目は「美しさ」、3番目は「勇気」、4番目は「信じる心」、
5番目は「希望」、6番目は「よろこび」、7番目は「才能」、8番目は「想像力」、
9番目は「敬う心」、10番目は「知恵」、11番目は「愛」、12番目は「誠実」

最後にはこう書かれてあります。「そして、最高の贈り物がもうひとつあります。それはあなた自身です」私もたくさん贈り物と最高の贈り物をもらっているはずなのに、どれも上手に使えてないなあ…としみじみ思っていると、贈り物の1つである、信じることについて、女優の芦田愛菜さんがこんなことを話されていました。「信じるという言葉の意味を考えた時、自分が理想とするその人を信じているのではないか。『裏切られた』とか、『期待していたのに』とか言うが、それは『その人が裏切った』というわけではなくて、『その人の見えなかった部分が見えただけ』であって、その見えなかった部分が見えたときに『それもその人なんだ』と受け止められる、『揺るがない自分がある』というのが『信じられること』なのではないかと思う」と。深く共感しました。思いもよらないことが起きて、動揺してしまうことがあるけれど、12の贈り物を上手に生かし、揺るがない自分を信じて1歩を踏み出す。今日はどの贈り物を生かして過ごすか、少し考えてから1日のスタートです。



日	曜	項	目
1	火		
2	水		
3	木		
4	金		
5	土		
6	日		
7	月	生活アンケート	ノート検定 (～10日)
8	火)	
9	水	入学説明会	(10:00～)
10	木		
11	金	建国記念の日	
12	土		
13	日		
14	月	クラブ活動	口座振替日

15	火	高学年懇談 (15:00～)	みどり懇談 (15:30～)
16	水	低学年懇談 (15:00～)	
17	木		
18	金		
19	土		
20	日		
21	月	朝会	クラブ活動 ステップ計算検定
22	火	社会見学 (4年)	お別れ遠足 (6年)
23	水	天皇誕生日	
24	木		現金徴収日
25	金		
26	土		
27	日		
28	月	朝会	ステップ漢字週間



3月の主な予定

2日	6年生を送る会	17日	給食終了
18日	卒業証書授与式	25日	修了式

☆授業参観中止及び懇談会の変更について

兵庫県にまん延防止等重点措置が適用されたことを受けまして、予定していました授業参観を中止いたします。学級懇談会につきましては、Google クラブルームを使用しての学級懇談会に変更します。接続・使用方法につきましては、後日配布の別紙をご参照ください。

☆欠席の取扱いについて

まん延防止等重点措置の実施期間中は、同居家族に発熱等の症状がある場合（ワクチン接種後を含む。）や濃厚接触者の疑いに伴うPCR検査を受けている場合は、お子様の登校を控えてください。

～職員より～

『 コロナ禍の過ごし方 』

感染症対策のため、いろいろなことを我慢しなくてはいけない日々が続きますね。なかなか出口も見えてこず、早く収まってほしいと願うばかりです。そんな中、我が家について某ゲーム機の「おうちカラオケ」がやってきました！「大声で歌うとご近所さんの迷惑にならないかな？」とか、「歌声が漏れると恥ずかしい」という気持ちもあったのですが、今はマイクカバーなるものがあるのです。マイクと口を覆うカップのようなもので、これをつけると大声で歌っても音漏れの心配がほぼなくなるという優れものです。（結局息苦しくて最終的にはカバーを外して小声で歌いましたが。）準備万端、休日に採点機能も使いながら家族みんなでわいわいとカラオケ大会を楽しみました。妻だけでなく小2の娘にも点数で負けてしまい、若干落ち込んでいたのは内緒です・・・

コロナ禍によりできないようになったことは確かに多いですが、工夫次第で楽しいことも案外見つかるものです。人と接するときも同じではないでしょうか。つついできないところに目が行ってしまい不満を言いがちですが、少し見方を変えてみるだけでこれまで気づけなかった素敵なことがたくさん見つかるかもしれません。そんなことを思いながら、娘に勝つべく夜な夜な小声で「廻廻奇譚」を歌いこむ今日この頃です。

(澤田 恭志)